

## ★米国が意図的に災害をつくりだしている＝ジェフリー・サックス

米コロンビア大学のジェフリー・サックス教授は5月1日の「デモクラシー・ナウ」に出演して、米国によるベネズエラ「制裁」の影響について次のように語った。

**質問**＝ベネズエラのマドゥーロ大統領は国の経済を破綻させたと厳しい批判がありますが、あなたは別の説明をしていますね。

**サックス教授** 経済的な停滞どころか、完全な経済崩壊、大惨事です。確かに危機はトランプ氏の就任前からありました、しかしトランプ政権の考えは、初めからマドゥーロを倒すことでした。それは仮説ではありません。トランプ氏はラテンアメリカの大統領たちとの話し合いの中で明白に、「なぜ米国は侵攻してはいけないのか」と尋ねています。彼はすでに2017年にそう言っていたのです。

だからトランプ政権の考えは最初からマドゥーロ政権を打倒することでした。中南米の指導者たちは、「いやいや、それは良い考えではない」といった。そこで米国政府はベネズエラ経済を窒息死させようとしているのです。

2017年に始まった制裁措置によって、ベネズエラは実質的に、国際資本市場から締め出されました。国営石油会社（PDVSA）も債務の借り換えすることができなくなりました。それでハーパーインフレに陥ったのです。まさに完全な崩壊でした。石油収入は急落しました。食べ物や薬を買うために使う収入が細りました。それが社会的、人道的危機が制御できなくなっていた時起こったのです。

それから今年です。私にいわせれば、きわめて単純で愚かな考えですが、（グアイド国会議長が）暫定大統領を自己宣言しました。これは米国が綿密に振り付けをしたもので、この時にもう一段厳しい制裁がおこなわれました。ベネズエラ政府の資産と収入を実質的に差し押さえてしまったのです。

ベネズエラはいま完全な破局状態です。そのかなり多くの部分は米国によって故意にもたらされたもので、とてつもなく大規模な苦難をもたらしています。飢餓があります。医薬品が信じられないほど不足しています。（大惨事の）ほこりが落ち着いて慎重な研究が行われるまで実態を知ることができないので、いまは想像することができるだけです。このような文脈で、確実にいえることは、

この大惨事の大部分は米国によって引き起こされたということです。なぜなら前述のように、オール・オア・ナッシングの政策だからです。

米国、トランプ大統領が理解していないのは、またもちろんボルトン（大統領補佐官）が同意しないのは、交渉というアイデアです。政権転覆の企ては粗雑でうまくいっていません。それに残酷です。3000万人を罰しているのですから。

**質問**＝米国による制裁の結果、4万人の死者という結論をだしておられますが。

**サックス教授** 明確にしておきたいのですが、それは誰にもわかりません。4万という数字は制裁後に死亡率が一定の割合で増加したというベネズエラの大学（複数）の推定にもとづく非常に基本的で単純な計算です。しかし確実かつ明白なことは、人道的な大惨事があつて、それは米国による、私にいわせれば違法な制裁によって意図的に起こされたものだということです。なぜなら意図的に政府を倒そうとし、政権転覆の目的で混乱をつくりだそうとしているからです。

**質問**＝なぜですか？

**サックス教授** なぜ米国はそんなことをしているのかですって。これは米国のいつも通りの右翼的な外交政策です。違いは何もありません。二十世紀にラテンアメリカ中でおこなわれたのと同じ政策です。中東を破滅的にしているのと同じ外交政策です。これはボルトンの外交の考え方でもあり、トランプ外交の考え方です。正面からパンチを加え相手を粉砕するのです。思いどおりにするためにできることを何でもしようとするのです。非常に単純で粗暴です。ですが、それは決してうまくいきません。大惨事を招くだけです。

**質問**＝最後に、指摘された集団制裁について提起された問題をお伺いします。集団懲罰はジュネーブとハーグ両方の国際条約にのべられ、米国も署名しているといいますが。

**サックス教授** それは米州機構（OAS）についても言えると思います。OASは他国に対するこの種の敵対行為を明示的に禁止しています。米国の制裁措置は現在、至るところで政府を倒すために課されています。昨日はイランでも同様に、経済の崩壊についての発表がありました。そして、IMFはその原因は米国の制裁だとしました。これはトランプ政権がニカラグアに対してもやろうとしていることです。

トランプ大統領は昨日、キューバに対する全面的な封鎖を発表しました。もし彼らが賢明でなければと。これはまったくのいじめです。完全に国際法違反です。それは大混乱を引き起こします。経済的進歩を遂げるだけでも難しいのに、米国が政治力を使って他国を破壊するなら、その結果は絶対に壊滅的なものになる可能性があります。

そしてベネズエラでは、壊滅的な渦巻き状の衰退とハイパーインフレへと追いやったのは（米国による）キックであったことがわかります。米国の報道はいつもマドゥーロを非難していますが、人々は見もしないし理解することすらありません。米国が制裁を道具にして、どのように金融市場へのアクセスをブロックし、企業をデフォルトに追い込み、貿易をブロックし、ベネズエラ政府が所有する資産を没収しているか。正確に言えばこの種の危機を意図的につくりだしているか。ボルトンのような人々の考えでは、痛みが十分になったところで、軍事力による転覆になるのです。だから彼らは大惨事をつくりだそうとしているのです。

これらの米政策、ネオコン政策がとてつねにばかげています。彼らは災害を引き起こしますが、ボルトンのようなたちの悪い人たちの政治目標さえ達成していません。それは効果的でたちが悪いのではなく、同時にまったく効果がなくたちが悪いのです。

ところがこの国では議会は誰も見ません。信じがたいことです。世界中に激突し害をあたえているトランプのワンマンショーを見せられているのに。監督が全くありません。国際通貨基金（IMF）や米州開発銀行のような国際機関では、人々は怖がって事実を語ることをさせません。現在の米大統領のようないじめっ子がどれだけの害を加えているか、どれだけの人命が失われているか、苦しみが作り出されているか、難民が意図的に作り出されているか、明らかな事実を語りたがらないのです。そしてニューヨーク・タイムスなどの人々が、悪いのは絶対にマドゥーロだといっているのです。彼らは明らかなプロセスさえ見ないのです。

（了）